

一般質問で市民の願い取り上げ実現せまる

開会中の3月議会は2月26日の議案質疑で山岡光広・岡田重美・西山実の各議員が質疑を行いました。また、2月27日から3月4日にかけて一般質問が行われ、17名の議員が登壇しました。

山岡光広議員 西山実議員

山岡光広議員は、①市職員の時間外労働をなくす働き方改革について、②下朝宮のゴミ問題その後、③国民健康保険税の引き上げについて、④甲南の忍術屋敷駐車場にある観光トイレの改修を、の4つのテーマで質問しました。

西山実議員は、①地域公共交通の充実を、特に水口地域のコミバスをもっと便利に、②本水口バス停横の休憩所とトイレの改修を、③上下水道料金について、④朝夕の交通渋滞の解消へ、右折信号の設置を、の4つのテーマで質問しました。

市職員の時間外労働を見直す問題では、高知県や鳥取県で導入されている「短時間勤務の正規職員枠」を導入してはどうか、と提案。副市長は「注目される動きである」と述べました。ただ慎重に検討すべきである」と述べました。「午前零時を超えての退庁」は、山岡議員の議会質問をきっかけに大幅になくなりましたが、令和7年度も数件発生しています。山岡議員は、情報公開請求で得た勤務実態資料をもとに、関係する部長に「本場に必要ない仕事だったのか」と質しました。また今年度から午後10時以降の勤務についても調査しており、「月の半分以上」という課も見られることから、再度「令和5年3月23日付事務連絡」をもとに時間外労働を是正するため、業務量の見直しと職員の適正配置という点で検証すべきと指摘しました。

山岡光広議員は、令和7年度一般会計に予算について、これまでの補助事業で廃止・減額した事業はどれだけか。特徴的な事業について質問しました。総務部長は、補助事業のうち、廃止した事業が「結婚新生活支援事業補助」「いきいき農園利用料補助」など18事業で4584万4千円、減額した事業が「地域支援員派遣事業補助」など7事業1140万5千円と回答がありました。基金について、これまでから安易な基金取り崩しによる財源確保は問題だと指摘をしてきた中で、今回、取り崩しの上限25億が言及され、その理由と財政調整基金だけか、その他の目的基金も含むのかについて質問しました。総務部長から「持続可能な規律ある財政運営を実現し、大規模災害等の不測の事態や景気変動に柔軟に対応するため、80億円程度の基金を維持する必要がある」とし、財政調整基金と特定目的基金を合わせた、基金取崩額の上限を25億円とした」と回答がありました。

●各議案に対する質疑

山岡光広議員は、令和7年度一般会計に予算について、これまでの補助事業で廃止・減額した事業はどれだけか。特徴的な事業について質問しました。総務部長は、補助事業のうち、廃止した事業が「結婚新生活支援事業補助」「いきいき農園利用料補助」など18事業で4584万4千円、減額した事業が「地域支援員派遣事業補助」など7事業1140万5千円と回答がありました。

ービス給付費が約7,700万円減少している理由、③在宅リハビリテーション支援事業の予算が増加している理由、任意事業費の介護給付適正化事業予算が計上されていない理由を質問しました。健康福祉部長より、「施設介護サービス給付費の増加の主な要因として、市内介護老人保健施設のうち1施設において、施設の類型を在宅強化型から超強化型に変更されたことから、一人あたり給付費の増加や受給者数の増加などの影響によるもの」と回答がありました。

西山実議員は、令和8年度甲賀市国民健康保険特別会計予算の質疑で、「令和9年度の滋賀県内統一を見据えての段階的引き上げの中で、令和7年度新たに未納になった世帯の特徴と、モデル世帯の負担増」を質問、総務部長より、「新たな未納世帯は393世帯、所得階層別では、所得なしが114世帯、所得43万円以下が33世帯、所得43万円超から100万円以下が45世帯、所得100万円超から200万円以下が92世帯、所得200万円超から300万円以下が60世帯、所得300万円超から400万円以下が19世帯、所得400万円超が30世帯」と回答がありました。

また、令和7年度計算例に子ども・子育て支援金分を加算した試算では、「夫婦と子ども1人で営業所得が300万円の場合は年税額490,900円となり10,000円の増」、「夫婦2人年金収入200万円の場合は、年税額99,600円となり2,800円の増」と回答がありました。

岡田重美議員は、甲賀市介護保険特別会計予算について、①調整交付金の交付割合を3.23%とした根拠、②保険給付費の予算が令和7年度予算に比べ1億5,844万1千円増加している点、また、施設介護サービス給付費が約2億3千万円増加し、地域密着型介護サ

西山議員は、「重症化しないためには、人間ドックや健康診断による早期発見、早期治療につなげる対策の強化、特定健診の受診率向上のための手立てが必要」と質しました。

<p>日本共産党</p> <p>甲賀市議員団ニュース</p> <p>2026年 3月 8日 第573号</p>	 <p>山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415</p>	 <p>岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696</p>	 <p>西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044</p>
---	--	---	---